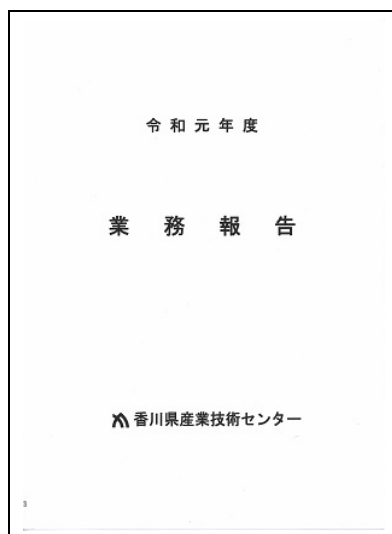


令和元年度 香川県産業技術センター 業務報告



（「はじめに」より）

香川県産業技術センターは、ものづくりのパートナーとして、「技術相談」、「依頼試験分析・施設利用」、「研究開発」を業務の3本柱に、人材育成や情報発信等を織り交ぜながら、地域企業のニーズに即した技術支援を行うとともに、得られた成果を企業における製品化・商品化に展開できるよう支援に努め、県内企業の生産性向上や競争力強化を支援しています。

特に重点的な取組みとして、産業成長戦略の成長のエンジンとなる分野のうち、「食品・バイオ関連分野」と「ものづくり分野」を中心として、食品分野では、希少糖、オリーブ、発酵食品、機能性食品、冷凍調理食品について、ものづくり分野では、溶接・加工などのものづくり基盤技術、知的ロボット、CNF 等高機能素材や次世代3D積層造形といった分野の研究開発を、所内に編成したプロジェクトチームを核として、地域企業と連携を密にして積極的に進めているところです。

また、産業成長戦略の改訂における新たな取組みとして、IoT、AI 技術を県内企業の生産性向上や競争力強化に繋げていくため、平成 30 年度から、所内に「IoT、AI 相談窓口」を設置し、IoT や AI 技術に関する技術相談に積極的に対応するとともに、県内企業における IoT、AI 技術の活用や製品開発支援を積極的に推進しているところです。

さらに、令和元年度には、発酵食品研究所に「商品試作開発室」を新たに設置し、地域の食品業界における食品試作・新商品開発等にご活用いただくとともに、当該施設を活用した戦略的な企業支援施策に取り組んでいるところです。

ここに、これらの取組みを取りまとめて「令和元年度香川県産業技術センター業務報告」を編纂いたしましたので、ご高覧賜れば幸いです。

（令和3年3月、香川県産業技術センター）

（7101296460）